

# 栃木市の非核平和事業

栃木市では、栃木市非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命の尊さや平和について考える機会を設けるため、今年も各種啓発事業を実施しました。

## 戦争体験を聞く会

戦争体験を風化させることなく、後世に伝えていくため、「戦争体験を聞く会」を2回開催しました。



ラジオにて自身の体験を語る山口スミさん

8月4日(火)、FMくらら85.7で戦争体験の語り部である山口スミさんに宇都宮空襲の体験について語っていただきました。山口さんは、空襲から逃れる様子や空襲後の悲惨な街の状況、当時の子どもたちの生活について詳しくお話しくださいました。

8月16日(日)には、広島から被爆体験伝承者である伊藤正雄さんにお越しいただき、当時12歳で被爆した少女の体験と、4歳で被爆したご自身の体験を語っていただきました。

来場者からは、「当時の悲惨な状況が目に見え、原爆の恐ろしさが伝わった。」「戦争を体験した世代が年々少なくなっているため、語り継いでいくことが大切だ」と思っ「などの声が寄せられました。」



被爆体験について質問を受ける伊藤正雄さん

## とちぎ平和展

8月16日(日)から20日(木)までの期間、本庁舎4階において、原爆の図丸美術館所蔵の「原爆の図」の複製画や、戦時中に使用されていた軍服等の現物資料、広島・長崎への原子爆弾投下後の惨状を収めた写真、パネル、昨年度の広島平和記念式典中学生派遣活動記録などを展示しました。

## 「原爆の子の像」へ千羽鶴奉納



今年度の「広島平和記念式典中学生派遣」は、新型コロナウイルスの影響で中止しましたが、本市の平和への想いをつなぐため、市内公立中学校14校の全生徒に平和への祈りを込め、一人一羽鶴を折っていただきました。昨年度の戦争体験を聞く会やとちぎ平和展で折っていただいた鶴と合わせて、5束の千羽鶴を、広島市の「原爆の子の像」に奉納しました。

総務課 ☎(21)2342

## くらしの窓

### 契約について考えてみましょう

私たちは普段生活している中で、さまざまな契約をしています。朝起きて水道で顔を洗う⇒「水道供給契約」/テレビを見る⇒「受信契約」/バスや電車に乗って通勤する⇒「旅客運送契約」/学習塾やエステサロンに通う⇒「継続的役務提供契約」/お金を借りる⇒「金銭消費貸借契約」、など様々です。

契約とは一体どういったものなのでしょうか。例えば、スーパーで1袋500円のオレンジをレジに持っていき「このオレンジをください」という申し込みをし、店員が「はい、ありがとうございます」と承諾をすれば、売買契約が成立します。また、インターネット通販では、商品を選んで申し込みボタンをタップ(クリック)することで申し込みとなり、その後の承諾画面の表示や承諾メールを受け取ることなどによ

り、売買契約は成立します。

契約は当事者の合意「買います」という申し込みと「売ります」という承諾で成立します。つまり、契約とは口約束でも成立し、一定の場合(保証契約など)を除いて、書面の作成は必須ではありません。

契約をするかどうか、誰と、どのような内容や方式で契約するかは、自由に決めることができます。これを「契約自由の原則」といいます。一度結んだ契約は、原則として一方の都合だけでやめることはできません。だからこそ、契約する前に、契約の内容や条件をよく検討することが大切です。契約内容や条件には、契約書に書かれていることはもちろん、口頭で受けた説明も含まれます。渡された書類には必ず目を通し、不明な点は事業者を確認しましょう。断るときはあいまいな返事をせず、「いいません」「必要ありません」と、はっきりと言うようにしましょう。

消費生活センター(本庁舎2階) ☎(23)8899 / FAX(23)8820

## 市政トピックス Hearts of TOCHIGI



### 感染症対策に留意した災害への備え 避難所設置訓練を実施しました

7月31日、大平体育館を会場に、避難所設置訓練を行いました。今回は、市で作成した新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営指針にもとづいた避難所の設置と避難者の受け入れに重点を置いて実施されました。

当日は本市の職員約80人が参加し、感染拡大防止のための間仕切りや簡易テントなどの組み立てや、避難者受け入れの際の検温などの手順を確認しました。



### 初秋の夕闇を照らす 柔らかなヨシの灯り

渡良瀬遊水地のヨシを利用して作った「ヨシ灯り」。このヨシ灯りを屋外に並べるライトアップイベント「渡良瀬遊水地のヨシ灯り2020」が、8月22日・23日に、栃木市と小山市の共催で、初めて開催されました。

会場となった小山市の生井桜づつみ公園には、両市のボランティアの皆さんなどが作成した約100基のヨシ灯りが並び、暮れゆく遊水地の空を背景に、幻想的な雰囲気に包まれました。



### 栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理組合「まちづくり功労者 国土交通大臣表彰」受賞

栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理組合が「まちづくり功労者国土交通大臣表彰」を受賞しました。これは、土地区画整理事業により広域交通網による高いポテンシャルを有した沿道の土地利用を促進し、商業施設の集積や良好なまちづくりに貢献した功績が高く評価されたものです。7月10日、阿部組合理事長をはじめとする役員の方が、市長に受賞の報告を行いました。